

一 般 質 問 通 告 書

令和 5年11月13日

議 会 議 長 様

議席番号 1 番

議員氏名 太 田 康 之

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 杉戸町の農業 の未来予測は	前回の一般質問で、農家戸数が約半減する調査結果をお聞きしましたが、杉戸町の農業の5年後、10年後の予測について、今回は更に踏み込み、農家の個々の状況などを伺います。 (1) 耕作面積拡大希望の農家、縮小希望の農家数は。 (2) 杉戸町の農家の平均年齢は。また、健康寿命は74歳とされていますが、5年後に74歳以下となる件数は。また、10年後は。 (3) 明日の農業担い手育成杉戸塾の卒塾生数、及び卒塾生の所得状況は。	町長 副町長 産業振興課長 農業委員会事務局長 担当課長
2. 新庁舎整備 計画は職員の 考えを取り入れ 柔軟に	新庁舎の整備計画については、既に新庁舎整備基本構想(案)のパブリックコメントや新庁舎整備審議会などが行われています。 そこで示されている新庁舎整備基本構想(案)では、事業費が概算で37億円から59億円の巨額な予算を必要とする計画が示されておりますが、現庁舎敷地内に建替えのパターンしか示されていません。また、新庁舎整備の進め方については、複数のパターンが示してあるもののわかりにくい内容だと思います。 新庁舎を建てるのであれば長く使えるように、また、場所や予算を限定せず様々な可能性を検討するべきであり、職員の改善案や希望を反映し、良いものを作る努力をしなければならないと考えます。 以上を踏まえ、以下伺います。	町長 副町長 管財契約課長 担当課長

11月13日 午前・午後 5時10分 受理

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
	(1) 新庁舎は何年使う想定か。 (2) 現在の不整形で狭い敷地に、周囲に配慮しながら小さく建てる、で事足りるのか。西仮グラウンドや国道4号沿い、すぎとピア併設、アグリパーク併設など、候補地は他にも考えられる。場所や予算を絞り、他の検討をしないのは、可能性を狭めている気がするがどうか。 (3) 重要なのは建物だけではなく、中で働く職員、利用する町民の利便性、行政・町民サービスである。計画を決定する前の現時点は、町役場職員の要望、改善案、アイデアを聞くチャンスでもあります。プロポーザル方式などで業者に考えさせ選択する方式ばかりでなく、町職員が考える使いやすい物であって欲しいと望むが、職員の声を集約し間取りや機能に反映する仕組みをどのようにお考えか。	